

第4回定例会を開催

～市政全般をチェック～

自由民主党千葉市議会議員団

伊藤 隆広



代表質問
(録画放映)

「事務事業の見える化」の検討状況と今後の予定は

問 厳しさを増す財政状況や今後の人口減少などを考慮し、選択と集中の観点から事業見直しが重要と考え、事務事業に対する行政評価の実施と公表を求めてきた。「事務事業の見える化」について、現在の検討状況と今後の予定を伺う。

答 現在、事務事業の全体像や各事業の概要を把握するため、効率的な実施手法の検討を進めている。その一環として、過去に実施していた事務事業評価と同等の単位である、財務会計システム上で管理する約1,700事業を対象とすることを想定し、課題の整理などを行っている。今後は、課題への対応策を整理した上で、事務負担の軽減に配慮しつつ、令和8年度の実施に向けて準備を進めていく。

大規模災害を想定した事前復興の取り組みは

問 事前復興の視点で、災害発生後の復興と強靱化を目指し、平時からの準備を着実に進めることが必要と考える。令和6年能登半島地震の復興状況を踏まえ、大規模災害を想定した事前復興について、取り組みの必要性と今後の取り組みを伺う。

答 大規模災害からの復興については、平時から必要な検討を進めておくことで、被災後の速やかな復旧・復興が期待できるため、事前復興の取り組みの必要性は高いと考えている。今後は、被害想定調査の結果を踏まえ、大規模災害からの復興に向けた基本的な考え方をはじめ、目標や課題、対応方針などについて検討し、速やかな復興のための準備を進めていく。



令和6年能登半島地震に伴う大規模火災によるまちの被害

市長に問う

＝代表質問から＝

12月3日・4日の2日にわたり、市政運営について各会派を代表して4人の議員が質問を行いました。その一部をご紹介します（詳しくは市議会ホームページの「議会中継（録画放映）」をご覧ください）。



地域イベントへの出展の様子

会派等

●議員定数 50人（令和8年1月7日現在）

◆自由民主党千葉市議会議員団 17人 ◆立憲民主・無所属千葉市議会議員団 11人 ◆公明党千葉市議会議員団 8人
◆日本共産党千葉市議会議員団 7人 ◆日本維新の会ちば 3人 ◆無所属 4人

立憲民主・無所属千葉市議会議員団

麻生 紀雄



代表質問
(録画放映)

福祉まるごとサポートセンター開設から2年間の評価は

問 福祉に関するさまざまな困りごとを受け止めて支援する同センターの評価を伺う。

答 相談対応を通じ、複数の生活上の課題を抱える事例や制度の狭間で相談先が不明な事例などの困難ケースが顕在化した。この対応に向け、同センターが複数の相談支援機関の役割分担などを調整したことで、機関同士の連携が進展したと考える。また、行政内部の調整が難航する際には、同センターを中心に庁内調整している。これらの取り組みにより、相談者の課題解決や多くの機関がつながる体制整備に貢献したことを評価する。

市役所における生成AIを活用した業務効率化の状況は

問 行政サービス維持、地域社会の持続可能性の確保に向け、生成AIは極めて重要な役割を果たすことが期待される。市役所でも業務改善のため、活用すべきと考えるが、活用状況を伺う。

答 活用推進のため、ガイドラインを策定し、条件付きで業務での生成AI利用を可能とした。職員アンケートでは、利用者の約9割が負担軽減につながったと回答し、文書要約やマクロ作成などに利用しており、業務効率化に一定の効果があると考ええる。さらなる活用のため、セキュリティの担保や他団体の動向などを踏まえ検討していく。

公明党千葉市議会議員団

酒井 伸二



代表質問
(録画放映)

全国的に休職者が増加する中、本市の教職員のメンタルヘルス対策は

問 教職員のメンタルヘルス対策のこれまでの取り組みとその効果、今後について伺う。

答 保健師による復職支援、学校管理職へのラインケア研修のほか、オンラインのセルフチェックや相談などの対策を進めた結果、本市の休職者数には増加傾向はみられず、一定の効果が得られたと考えている。学校現場からは、これらの取り組みに強い期待が寄せられており、今後も、教職員が安心して働き続けられる環境づくりに向け、より効果的に持続可能な方法の検討を進めていく。

地域包括ケアシステムの中核を担うあんしんケアセンターの現状や今後は

問 目標年次を迎えた今、現状と課題をどのように捉え、今後どのように取り組んでいくか。

答 住み慣れた地域で人生の最期まで暮らせるよう、さまざまな相談や介護予防ケアマネジメントなどを行い、地域の居場所や見守り活動など生活を支える仕組みづくりを進めてきた。課題は、高齢者の増加による業務の増大や、複合的な課題を抱えた方への対応などがある。今後、業務量や質に見合う職員確保や他の相談機関と連携した支援に努めるなど、センターの機能を強化していく。



緑区で社会実験中のデマンドタクシー

日本共産党千葉市議会議員団

野本 信正



代表質問
(録画放映)

デマンドタクシー^{※1}を全市に広げるための社会実験実施を求めるが、見解は

問 バス路線廃止の代替として緑区で社会実験をしている。外出によって認知症抑制、市税還流など多大な効果があるため、全市的な運行を求めるが、市は他の交通事業者との競合があり、実施困難としている。利用者を75歳以上とするなどで競合は少なくなると考えるが、本市の見解を伺う。

答 路線バスやタクシーなどは多くの高齢者が利用しており、年齢を制限しても、これらの交通事業者との競合が懸念されるため、全市的なデマンドタクシーの運行実施は困難と考える。

国の交付金を活用し、速やかな物価高騰対策の実施を求めるが、本市の見解は

問 市民生活、医療機関などを支えるため、①全世帯向けのお米券の配布、②医療機関・診療所・介護事業所などへの事業継続支援、③中小企業者への物価高騰支援金の交付または賃上げの支援を行うことを要望するが、本市の見解を伺う。

答 国の交付金拡充を受け、これまでの本市の市民・事業者向け支援や国が推奨する食料品物価高騰支援なども踏まえ、早期実施に向け対応する。また、医療機関などへの国の経営改善支援の動向などを注視し、適切に対応する。

常任委員会

12月1日に開催した各常任委員会では、補正予算・条例議案などを詳細に審査しました。
質疑の一部をご紹介します。



常任委員会
(録画放映)

委員会	所管事項
総務	危機管理、防災、総合計画、行政改革、財政など
保健消防	保健医療、高齢者・障害者の福祉、救急、消防、病院など
環境経済	市民協働、文化・スポーツ振興、環境保全、ごみ、経済振興、農業など
教育未来	子どもの福祉、子育て、教育、生涯学習など
都市建設	まちづくり、公園、住宅、道路、上下水道など

総務委員会

議案5件
陳情1件

宝くじ収益金の使い道と販売促進策は

問 宝くじ収益金の使い道と、販売促進策、キャンペーン依存症対策について伺う。

答 宝くじ収益金は公共事業推進のための貴重な自主財源であり、令和6年度は主に災害対策や芸術文化振興などの事業に活用したところである。販売促進策では、宝くじの全国団体が若年層向けのCMやSNS広報、ネット販売などを実施しており、本市も市政だよりやラジオなどで市内での購入を呼びかけている。また、依存症対策としては、全国団体がコールセンターへの相談員設置などを行っているほか、本市も収益金の使途の周知により、射幸心ではなく公共心に呼びかける取り組みを実施している。



保健消防委員会

議案7件
陳情1件

(仮称) 幕張海浜病院の整備工期延伸に伴う影響は

問 工期の延伸により、開院までの準備期間が1カ月短くなるが、影響と準備の進め方は。

答 開院準備は一定の余裕をもったスケジュールを組んでいたため、工期が延伸した後も重要工程には影響がなく、予定通り作業を進められる体制を確保している。設置調整に時間を要する大型医療機器から順次搬入するとともに、電子カルテなどのシステムの着実な移行・環境整備のほか、患者搬送など病院移転も十分なシミュレーション訓練やリハーサルを実施するなど、適切なスケジュール管理を行い、予定通り令和8年秋に開院できるよう万全の体制で準備を進めていく。



環境経済委員会

議案24件

千葉ポートタワーの指定管理者の評価と今後は

問 現指定管理者の評価と、それを踏まえ、次期指定管理者に期待する取り組みを伺う。

答 現在の指定管理者は、本市設定の成果指標である有料来館者数と満足度が目標値を上回っている点を評価しているが、飲食や催事事業などの自主事業の収支の赤字が続いており、改善を求めてきた。令和8年4月からの指定管理者は3者の共同事業体で、構成員には飲食事業やイベント開催などの実績があることから、その強みを生かした管理運営により集客を図るとともに、千葉みなとエリア内の旅客船さん橋やポートパーク、県立美術館と連携し、にぎわいを創出することを期待する。



教育未来委員会

議案13件 請願1件
陳情 2件

子ども家庭ソーシャルワーカー^{※2}へ期待する効果は

問 乳児院などの長や児童指導員などの任用要件に、子ども家庭ソーシャルワーカーの有資格者を追加する背景と、期待する効果を伺う。

答 子ども家庭ソーシャルワーカーは、子どもと家庭を取り巻く環境が複雑化・深刻化している中、子ども家庭福祉の実務者の専門性の向上を図るため新設された認定資格である。期待する効果としては「子どもの権利擁護」、「児童虐待の理解」、「社会擁護と自立支援」といった多岐にわたる研修の受講など、子どもや家庭に関する専門的なカリキュラムを修了した者を配置することで、より適切な支援につなげることができると考えている。



都市建設委員会

議案6件
陳情1件

令和8年4月に市営水道料金を引き上げる理由は

問 市営水道の料金改定理由と、施設の老朽化などへの対策について伺う。

答 市営水道は、市民負担の公平性を保つため、県営水道と同一料金としているが、料金収入だけでは費用を賄えず、一般会計からの繰入金で補っている。令和8年4月からの県営水道の料金改定に伴い、県営水道からの水の購入価格が値上げされ、収支の赤字や資金不足の拡大が見込まれるため、市営水道も同一料金に改定する。現在進めている水道事業中長期経営計画で、持続可能な水の供給体制確保を目指し、管路の老朽化対策や施設の耐震化対策のほか、料金改定を織り込んだ形で検討する。



大木戸浄水場

用語解説

※1 デマンドタクシー

主に路線バスの廃止や減便により公共交通不便地域となったエリアで、移動手段を確保するため導入される事前予約制の乗合タクシー

※2 子ども家庭ソーシャルワーカー

虐待を受けた児童やその保護者などに対する相談および必要な指導などを通じて的確な支援を実施できる十分な知識や技術を有する者

一般質問の内容はホームページをご覧ください

12月5日～11日の5日間にわたり、市政に関するさまざまな質問を行う一般質問を、33人の議員が行いました。その様子は市議会ホームページの議会中継（録画放映）をご覧ください。

このほか、ホームページには代表質問の様子や可決した意見書の全文も掲載しています。関連ページ（議会中継等）へのリンク集から、ぜひご覧ください。

千葉市議会 令和7年第4回定例会リンク集



令和7年第4回
定例会リンク集